

日・バーレーン共同記者発表

- 日本の総理大臣として初のバーレーン訪問。ハリファ首相を始めバーレーン側の歓迎、もてなしに感謝。昨年ハマド国王、サルマン皇太子の訪日及び今日の私のバーレーン訪問により、二国間関係は飛躍的に進展。
- 会談では、「安定と繁栄に向けた包括的なパートナー」を目指し、両国の友好・協力関係を一層強化することで一致。
- 具体的には、安全保障対話の新設、防衛交流の強化、マネーロンダリングやテロ資金供与に関する情報交換を進めるほか、インフラ整備やエネルギー分野での協力、人材育成等を含む、経済、医療、農業等の幅広い分野での協力で一致。バーレーンによる日本からの食品輸入規制の解除の決定を歓迎。これは、先般訪日したサルマン皇太子に依頼したもので、今次訪問を契機にいち早く解除を決定したことに感謝。
- さらに、バーレーンは本年のGCC議長国であることから、日本とGCCとの閣僚級戦略対話の早期実施など、GCCとの対話と協力を強化することで一致。
- 会談後、私とハリファ首相立ち会いの下、保健分野での協力、マネーロンダリング等に関する情報交換、農業協力、臨床研究に関する文書への署名が行われたことは喜ばしい。

○今後の両国の協力関係を強化し、二国間関係を更に発展させていきたい。